

講演者及びパネリストプロフィール（名古屋会場）

< 講演者 >

山本 茂貴（やまもと・しげき）

国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 部長

東京大学大学院農学系研究科獣医学専攻修士課程修了、農学博士。国立公衆衛生院衛生獣医学部乳肉衛生室長、国立感染症研究所食品衛生微生物部長を経て、現職。獣医疫学会会長、日本食品微生物学会理事であり、食品安全委員会プリオン専門調査会専門委員、リスクコミュニケーション専門調査会専門委員。

< コーディネーター >

増田 淳子（ますだ・あつこ）

農政ジャーナリスト

NHKディレクター、プロデューサーなどを経て、平成16年4月より明治大学農学部客員教授。NHK在職中は主に食生活や農業に関する番組の企画制作に携わった。現在、農政ジャーナリストとして活躍中。

< パネリスト（講師を除く） >

楓 健年（かえで・たけとし）

愛知県消費者団体連絡会代表幹事

全国公団住宅自治会協議会代表幹事。江南市環境審議会会長。

食することから住むことまで、暮らしに関わる諸課題を消費者、住民の立場でとりくみをすすめています。

伊藤 巖悟（いとう・げんご）

肉用牛繁殖肥育一貫経営、下呂市議会議員、元飛騨肉牛生産協議会会長。

多賀谷 保治（たがや・やすはる）

（社）日本フードサービス協会BSE対策実行委員会委員、

株式会社吉野家ディー・アンド・シー 企画室 部長

一橋大学商学部卒業後、総合商社に入社し畜産・食肉の輸入を中心に担当。

平成13年株式会社吉野家ディー・アンド・シーに入社、食肉の仕入れを担当し、日本でのBSE発生後、世界の牛肉事情を調査。平成15年12月に米国でBSEが発生し、輸入停止後、BSE問題を担当。